

教科・科目（単位数）	保健体育・体育（2）	学年	1年
使用教科書・副教材等	新高等保健体育（大修館書店）	集団	11HR～15HR
農業高校における保健体育科としての目標 保健体育の見方・考え方を働かせ、農業高校での体験活動や実習での課題を発見し、その課題を合理的、計画的に解決することを通して、心身の健康を保持増強する能力を育成する。 科目の目標 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 （2）生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 （3）運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。			

評価の観点とその趣旨

①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の多様性や体力の必要性について理解している。 ・運動の合理的・計画的な実践を通して、運動のルールや技術(技)の名称等を理解している。 ・運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい運動を豊かに継続することができるようにするための技術を身に付けている。
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自己や仲間の課題や生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見したり、書き出したりする力を身に付けている。 ・自己や仲間の課題や生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。
③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・運動における協働や競争の経験を通して、健康・安全を確保し、運動に意欲的、主体的に取り組もうとしている。 ・運動における協働や競争の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力し、自己の責任を果たし参画し、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を高めようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み状況(授業用プリント等) ・タイムなどの記録(陸上競技、水泳)、技能テスト ・技能向上のための努力・工夫 ・ゲーム状況・結果 ・筆記テスト

学習計画

月	単元	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
			①	②	③
4	体づくり運動 (集団行動・体ほぐし)	整頓、集合、方向転換、列の増減などの仕方を理解し行動できる。	○		
		仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通じて、気付いたり関わり合ったりできる。		○	
5		集団行動や体ほぐしの運動を自主的に取り組むとともに、健康・安全を確保し活動している。			○

5	球技（ゴール型）	用いられる技術や戦術、作戦に名称があり、それらを身に付けるためのポイントを理解し、技術を身に付けている。	○		
		役割に応じて「拾う、つなぐ、打つ」等の一連の流れを意識した攻防をすることができる。	○		
		合理的な動き方と自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。		○	
		球技の学習に自主的に取り組もうとしている。			○
6	水泳（クロール）	各種目で用いられる技術の名称やポイントを理解し、それぞれの技術を実践することができる。	○		
		合理的な動きと自己の動きを比較して、成果や改善すべきポイントを見つけることができる。		○	
		自主的に取り組むとともに、事故防止の心得を遵守し健康・安全を確保している。			○
9	体づくり運動（新体力テスト、体力を高める）	運動には体力の向上の原則があることを理解し、運動のねらいやバランスを考え、自分に合った運動を計画し取り組むことができる。	○		
		運動のねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定することができる。		○	
		自主的に取り組むとともに、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保すること。			○
10	球技（ネット型）	用いられる技術や戦術、作戦に名称があり、それらを身に付けるためのポイントを理解し、技術を身に付けている。	○		
		安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	○		
		攻防などの自己のチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		○	
		自主的に取り組み、互いに助け合い、教え合おうとしている。			○
12	陸上競技(長距離)	自己の体力や技能の程度に合った目標を設定し、記録向上に向けて走ることができる。	○		
		授業での自己の走りを振り返り、反省点や改善点を書き出している。	○		
		記録の向上に有効な練習方法のやり方について、自己の考えを伝えることができる。		○	
		一人一人の技能の違いに応じた課題に自主的に取り組んでいる。			○
2	体育理論 スポーツの発祥と発展	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの発祥と成立 ・スポーツ文化の発展と現代社会 ・オリンピック・パラリンピックと国際社会 ・スポーツの経済的効果とスポーツ産業 ・スポーツに求められる高潔さ ・持続可能性からみたスポーツと環境 について理解している。(学年末テストにて実施)	○		
		自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができる。		○	
		課題を発見するために意見交換などの学習に自ら進んで取り組んでいる。			○

教科・科目（単位数）	保健体育・保健（1）	学年	1年
使用教科書・副教材等	新高等保健体育（大修館書店）	集団	HR・コース
農業高校における 保健体育科としての目標 保健体育の見方・考え方を働かせ、農業高校での体験活動や実習での課題を発見し、その課題を合理的、計画的に解決することを通して、心身の健康を保持増強する能力を育成する。 科目の目標 保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成することを目指す。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			

評価の観点とその趣旨

①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会と健康について理解を深めること。 ・安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にすることが身に付いている。
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスク軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連づけて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 ・安全な社会生活に関わる事象や情報から課題を発見し、自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明できるようにする。
③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた自他の健康管理や支える環境づくりに関心を持っている。 ・生涯を通じて健康の保持増進と、生活習慣病の予防と回復を目指そうとする生活習慣や実践力を発揮しようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の知識・技能の点検、確認、分析（ルール等の小テスト、スキルテスト、発表会、学習プリント・ノート等） ・記述の点検、確認、分析（学習プリント・ノート、グループワーク等） ・行動の観察、確認（グループ活動の姿勢、安全性の確保、授業への取組状況 等）

学習計画

月	単元	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
			①	②	③
4	2. 安全な社会生活 ・事故の現状と発生要因 ・交通事故防止の取り組み ・安全な社会の形成	安全な社会づくりには、環境の整備と個人の取り組みが必要であることを理解している。	○		
		安全に関する原則や概念に着目して、危険の予測や回避方法を考えて表現することができる。		○	
		安全な環境整備のための個人の取り組みに努めたり、自他の生命を尊重する態度を身に付けようとしている。			○
5	・応急手当の意義と救急医療体制 ・心肺蘇生法 ・日常的な応急手当	応急手当には、正しい手順や方法があり、傷害や疾病の悪化を軽減できることや、速やかに行う必要があることを理解している。	○		
		心肺蘇生法などの応急手当の方法や手順をよく理解し、状況に応じて適切に行うことができる。	○		
6		安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方		○	

7		法を考え、それらを表現することができる。			
		応急手当や心肺蘇生法の実習を、今後身近に起こることと認識し、習得しようと意欲的に取り組んでいる。			○
	1. 現代社会と健康 ・日本における健康課題の変遷 ・健康の考え方と成り立ち	国民の健康水準の向上や疾病構造の変化や様々な要因の影響を受けながら健康が成り立っていることについて理解している。	○		
9	・ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり ・健康に関する意思決定・行動選択	健康の考え方について、課題を発見し、解決方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。		○	
		健康について興味を持ち、自分や家族の生活を振り返るとともに、健康になるための資料を調べたりするなど学習活動に意欲的に取り組んでいる。			○
10	・現代における感染症の問題 ・感染症の予防 ・性感染症・エイズとその予防	感染症の発生や流行、その予防について理解している。	○		
		感染症とその予防について、課題を発見し、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる。		○	
11		感染症とその予防について、課題解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組んでいる。			○
	・生活習慣病の予防と回復 ・身体活動・運動と健康 ・食事と健康 ・休養・睡眠と健康 ・がんの予防と回復	健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、調和の取れた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。	○		
12		生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、個人の取組や社会的な対策を整理している。		○	
		生活習慣病の予防や回復について、課題解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組んでいる。			○
1	・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康	喫煙と飲酒が生活習慣病などの要因になることや、薬物乱用が心身の健康や社会に深刻な影響を与えていることについて理解している。	○		
		喫煙と飲酒、薬物乱用について課題を発見し、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる。		○	
		喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、課題解決に向けた話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組んでいる。			○
2	・精神疾患の特徴 ・精神疾患への対応	精神疾患の予防と回復には、調和の取れた生活の実践や早期の心身の不調への気付き、様々な方法でストレスを緩和することが重要であることを理解している。	○		
		精神疾患の予防と回復について課題を発見し、健康を支える環境づくりと解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる。		○	
		精神疾患の予防と回復について、課題解決に向けた話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組んでいる。			○

教科・科目（単位数）	保健体育・体育（3）	学年	2年
使用教科書・副教材等	新高等保健体育（大修館書店）	集団	21HR ～25HR
農業高校における保健体育科としての目標 保健体育の見方・考え方を働かせ、農業高校での体験活動や実習での課題を発見し、その課題を合理的、計画的に解決することを通して、心身の健康を保持増強する能力を育成する。 科目の目標 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 （2）生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 （3）運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。			

評価の観点とその趣旨

①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の多様性や体力の必要性について理解している。 ・運動の合理的・計画的な実践を通して、運動のルールや技術(技)の名称等を理解している。 ・運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい運動を豊かに継続することができるようにするための技術を身に付けている。
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自己や仲間の課題や生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見したり、書き出したりする力を身に付けている。 ・自己や仲間の課題や生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。
③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・運動における協働や競争の経験を通して、健康・安全を確保し、運動に意欲的、主体的に取り組もうとしている。 ・運動における協働や競争の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力し、自己の責任を果たし参画し、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を高めようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み状況(授業用プリント等) ・タイムなどの記録(陸上競技、水泳)、技能テスト ・技能向上のための努力・工夫 ・ゲーム状況・結果 ・筆記テスト

学習計画

月	単元	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
			③	②	①
4	体づくり運動 (集団行動・体ほぐし)	整頓、集合、方向転換、列の増減などの仕方を理解し行動できる。	○		
		仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通じて、気付いたり関わり合ったりできる。		○	
5		集団行動や体ほぐしの運動を自主的に取り組むとともに、健康・安全を確保し活動している。			○

5 6 6 7	球技	用いられる技術や戦術、作戦に名称があり、それらを身に付けるためのポイントを理解し、技術を身に付けている。	<input type="radio"/>		
		ゴール型では安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	<input type="radio"/>		
		ネット型では、役割に応じて「拾う、つなぐ、打つ」等の一連の流れを意識した攻防をすることができる。	<input type="radio"/>		
		ベースボール型では安定したボール操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などで攻防をすることができる。	<input type="radio"/>		
		合理的な動き方と自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。		<input type="radio"/>	
		球技の学習に主体的に取り組もうとしている。			<input type="radio"/>
9 10	水泳 (平泳ぎ)	各種目で用いられる技術の名称やポイントを理解し、それぞれの技術を実践することができる。 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。	<input type="radio"/>		
		合理的な動きと自己の動きを比較して、成果や改善すべきポイントを見つけることができる。		<input type="radio"/>	
		自主的に取り組むとともに、事故防止の心得を遵守し健康・安全を確保している。			<input type="radio"/>
10 11	体づくり運動 (新体力テスト、体力を高める)	運動には体力の向上の原則があることを理解し、運動のねらいやバランスを考え、自分に合った運動を計画し取り組むことができる。	<input type="radio"/>		
		運動のねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定することができる。		<input type="radio"/>	
		自主的に取り組むとともに、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保すること。			<input type="radio"/>
12 1	球技	用いられる技術や戦術、作戦に名称があり、それらを身に付けるためのポイントを理解し、技術を身に付けている。	<input type="radio"/>		
		ゴール型では安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	<input type="radio"/>		
		ネット型では、役割に応じて「拾う、つなぐ、打つ」等の一連の流れを意識した攻防をすることができる。	<input type="radio"/>		
		ベースボール型では安定したボール操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などで攻防をすることができる。	<input type="radio"/>		
		合理的な動き方と自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。		<input type="radio"/>	
		球技の学習に主体的に取り組もうとしている。			<input type="radio"/>
2	陸上競技(長距離)	自己の体力や技能の程度に合った目標を設定し、記録向上に向けて走ることができる。	<input type="radio"/>		
		授業での自己の走りを振り返り、反省点や改善点を書き出している。	<input type="radio"/>		
		記録の向上に有効な練習方法のやり方について、自己の考えを伝えることができる。		<input type="radio"/>	
		一人一人の技能の違いに応じた課題に自主的に取り組んでいる。			<input type="radio"/>
	体育理論 スポーツの発祥と 発展	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツにおける技術と戦術・戦略 ・スポーツにおける技能と体力 ・技能の上達過程と練習の考え方 ・効果的な動きのメカニズム 	<input type="radio"/>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・体力トレーニング ・運動やスポーツでの危険予知と安全確保 について理解している。(学年末テストにて実施)			
	自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができる。		○	
	課題を発見するために意見交換などの学習に自ら進んで取り組んでいる。			○

教科・科目 (単位数)	保健体育・保健 (1)	学年	2年
使用教科書・副教材等	新高等保健体育 (大修館書店)	集団	HR・コース
農業高校における 保健体育科としての目標 保健体育の見方・考え方を働かせ、農業高校での体験活動や実習での課題を発見し、その課題を合理的、計画的に解決することを通して、心身の健康を保持増強する能力を育成する。 科目の目標 保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成することを目指す。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			

評価の観点とその趣旨

① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯を通じる健康について理解を深めること。 ・健康を支える環境づくりについて理解を深めること。 ・生涯を通じる健康に関する情報や健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現すること。
② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯に通じる健康に関わる事象や情報や健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる。
③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた自他の健康管理や支える環境づくりに関心を持っている。 ・生涯を通じて健康の保持増進と、生活習慣病の予防と回復を目指そうとする生活習慣や実践力を発揮しようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の知識・技能の点検、確認、分析 (ルール等の小テスト、スキルテスト、発表会、学習プリント・ノート等) ・記述の点検、確認、分析 (学習プリント・ノート、グループワーク等) ・行動の観察、確認 (グループ活動の姿勢、安全性の確保、授業への取組状況 等)

学習計画

月	単元	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
			③	④	⑤
4	生涯を通じる健康 ・思春期と健康 ・性意識の変化と性行動の選択	思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できるようにする。	○		
		結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする。	○		
	5 6	中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係することを理解できるようにする。	○		
		労働による障害や職業病などの労働災害は、作業携帯や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことを理解で	○		

7	・高齢社会に対応した取り組み	きるようにする。			
9	・働くことと健康 ・労働災害の防止 ・働く人の健康づくり	働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことを理解できるようにする。	○		
		生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる。		○	
		生涯を通じて健康の保持増進と、生活習慣病の予防と回復を目指そうとする生活習慣や実践力を発揮しようと意欲的に取り組んでいる。			○
10	健康を支える環境づくり ・大気汚染と健康 ・水質汚濁・土壌汚染と健康 ・健康被害を防ぐための環境対策	人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあることを理解できるようにする。	○		
		食品の安全性を確保することは健康を保持増進するうえで重要であることを理解できるようにする。	○		
		生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であることを理解できるようにする。	○		
11	・環境衛生に関わる活動 ・食品の安全性と健康 ・食品の安全性を確保する取り組み	我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていることを理解できるようにする。	○		
		自他の健康を保持増進するためには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であることを理解できるようにする。	○		
12	・保健制度とその活用 ・医療制度とその活用 ・医療品の制度とその活用	健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともにそれらを表現することができる。		○	
		・ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた自他の健康管理や支える環境づくりに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。			○
1	・様々な保健活動や対策 ・誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり				
2					

教科・科目名 (単位数)		体育 (2)	HR コース	31~35HR
学年	3年	使用教科書・副教材等	最新高等保健体育〔改訂版〕 (大修館)	
<p>農業高校における保健体育科としての目標 保健体育の見方・考え方を働かせ、<u>農業高校での体験活動や実習での課題を発見し、その課題を合理的、計画的に解決することを通して、心身の健康を保持増強する能力を育成する。</u></p> <p>科目目標 運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を深め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。</p>				

評価の観点とその趣旨

① 関心・意欲・態度	公正、協力、責任、参画などに対する意欲を持ち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。
② 思考・判断	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実践を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。
③ 運動の技能	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、運動の特性に応じた技能を身に付けている。
④ 知識・理解	選択した運動の技術(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み状況(保健ノート、授業用プリント等) ・タイムなどの記録(陸上競技、水泳)、技能テスト ・技能向上のための努力・工夫 ・ゲーム状況・結果 ・筆記テスト・提出物資料

学習計画

学期	領域	学 習 内 容
1	体づくり運動 陸上競技 体づくり運動 水泳	姿勢・集合・整頓・番号・方向転換・列の増減・開列・足踏み・行進 短距離走・長距離走 体をほぐす運動・体力を高める運動 クロール・平泳ぎ・背泳ぎ
2	陸上競技 球技	長距離走 新体力テストの実施 選択制 (ソフトボール・サッカー・ソフトテニス・バレーボール・ バスケットボール・バドミントン・卓球)
3	陸上競技 球技	長距離走 選択制 (ソフトボール・サッカー・ソフトテニス・バレーボール・ バスケットボール・バドミントン・卓球)

学期	学習項目	学 習 内 容
*	体育理論	豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする。

* 単元と単元の間実施する。